



## 額にピリピリした痛みを感じた4~5日後、 プツプツとした水ぶくれができました

ウイルス性の皮膚病・帯状疱疹の疑いがあります

中野皮膚科クリニック

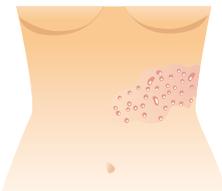
<http://www.nakano-derma.com/>

### 帯状疱疹ができる部位

顔



腹部



03(5)342(0)722

体の片側の神経に沿って帯状に現れます。顔、腹部、背中など胴体に多く発症しますが、体のどの部分でも発症します



診察時間 休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:00	○	○	○	○	○	○
15:00~19:00	○	○	○	○	○	17:00まで受付

院長：松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

痛みと発疹を発症する帯状疱疹は女性に多い病気。その症状と治療について日本皮膚科学会皮膚科専門医・中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

「帯状疱疹は、水ぼうそうと同じく水痘・帯状疱疹ウイルスによって発症します。子どものころにかかった水ぼうそうのウイルスが体内の神経節に潜伏し、病気がストレスなどで免疫力が落ちたときに再活性化して帯状疱疹が現れます」

「どんな症状ですか？」  
「神経節に沿って顔や胸部、腹部などに発症します。体の片側だけにみられるのが特徴。先に痛みを感じることも多く、湿布などを貼ると、発疹をかぶれと勘違いするケースもあるようです」

「治療法は？」  
「抗ウイルス薬と痛み止めを処方します。局所には消炎作用のある塗り薬を塗布。抗ウイルス薬は発症から3日以内に服用するのがよいとされていますので、症状が出たら早めに受診しましょう。強い痛みが出たら、患者さんの体調や症状に合わせて痛みをコントロールする治療を行います」

「経過について教えてください」  
「急性期の痛みは1カ月以内で引きますが、3カ月以上痛みが残ることも。これを『帯状疱疹後神経痛』といいます。60歳以上に多く、かかるのは15%程度ですが、痛みを残さないためにも医師に相談してください」

2014年9月27日付 「リビング東京副都心」に掲載されました